

～平成28年11月22日、首都圏氾濫区域堤防強化対策の工事現場において、高校生を対象にICT活用工事の現場見学会を開催しました～

堤防強化対策の概要は2枚目の参考資料をご覧ください

江戸川河川事務所では、工事受注者と連携し、建設業の未来の担い手となる学生などを対象に、建設業への理解と興味・関心を深めて頂くことを狙いとして、管内のICT活用工事においてICT建設機械の試乗やUAV（ドローン）などの測量機器体験等を交えた現場見学会を開催し、市川工業高校の生徒約80名が参加しました。



UAV(ドローン)を活用して集合写真を撮影

開催日：平成28年11月22日(火)
場所：吉川市下内川地先（江戸川右岸36.5k付近）
参加者：千葉県立市川工業高校建築科1年生 78名
工事受注者（川村建設(株)）
協力会社（フソウ開発工業(株)、
（株）アクティオ、(株)マナブ測建）



リモコンを使用してバックホウを遠隔操作



ICT搭載の建設機械(MCブルドーザ)に試乗



UAV(ドローン)操作見学

高校生はスマホなどを通じてICTに馴染んでいるので、新しい時代の建設工事に触れることで建設業界に興味を持って欲しい。

(川村建設(株) 現場代理人:梅澤)

【参加した生徒からの感想(一部)】

- ・男性しか働いているところを見たことがなく、現場に女性がいることが新鮮でした。
- ・作業員の安全、負担を軽くする工夫がたくさんあった。
- ・現在の工事現場ではドローンを使用した測量やラジコン式の重機、GPS等が付いた重機等があり、工事現場でも最先端は日々変わっているんだと思った。
- ・泥くさくて、人手が多く、作業も重労働と思っていましたが、ちゃんと現場で働く人のために考えられ作られ、本当に優しいものなんだと思いました。
- ・やっぱり人と人とのつながりが大切な仕事なんだと改めて思いました。
- ・リモコンを使ってバックホウを操作できることがイメージと違ったため驚いた。
- ・災害などによって人が立ち入れない場所で役立つと聞いて凄いと感じた。



～参加した高校生に、建設業への理解と興味・関心を深めて頂くことができました～

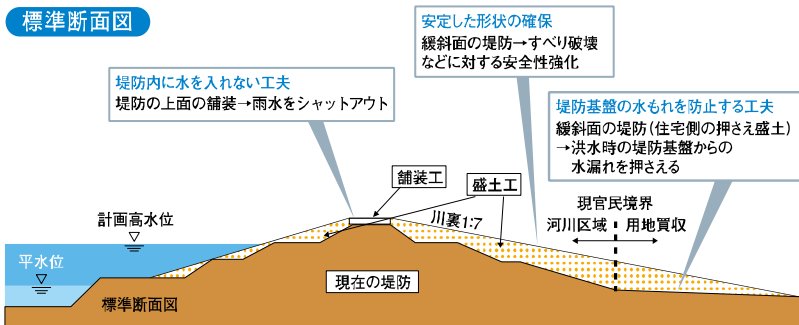
首都圏氾濫区域堤防強化対策

堤防の断面を大きくすることで
浸透による堤防の決壊を防ぐための対策です。



江戸川堤防の安全性を向上させるため、江戸川が利根川より分かれる地点から常磐自動車道江戸川橋梁付近の範囲において、現況堤防の安全性等を考慮して右岸側の堤防断面を大きくする堤防強化対策（浸透対策）を実施しています。

標準断面図



堤防断面拡大による堤防強化(吉川市吉屋地先)

完成までの整備手順

①用地取得

✓ 対象地域の皆様と協力していただき、堤防強化対策に必要な範囲の用地を確保します。



ある程度まとまって用地取得ができたところから順次堤防強化対策を実施します。

②堤防強化対策の施工

道路や水路の付け替えを行った後、盛土の安定のため2回に分けて盛土を実施します。

②-1 道路、水路の付け替え

✓ 堤防強化対策範囲内にある道路や水路の機能を確保するために付け替え工事を実施します。



②-2 下段盛土

✓ 出水期(6月～10月)にも次の工事ができるようにする盛土を「下段盛土」と呼んでいます。



②-3 上段盛土

✓ 最終形にする盛土を「上段盛土」と呼んでいます。この工事が終わると完成になります。



今回、現場見学会を開催した
H27下内川地区堤防整備工事
では、この段階の築堤工事
(下段盛土)を行っています。



国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所
〒278-0005 千葉県野田市宮崎134
TEL: 04-7125-7311(代表)